

名称：心房細動を合併する脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、抗凝固薬を処方された症例

指標番号：

QIP: 2172

年度：2010, 2012, 2014, 2016, 2018, 2020

更新日：2021-04-27

指標群：脳卒中

名称：心房細動を合併する脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、抗凝固薬を処方された症例

意義：心房細動を合併する脳梗塞の3次予防に抗凝固薬は有効である。

必要データセット：DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約：

分母：18歳以上の脳梗塞かTIAの診断で入院し、かつ心房細動と診断を受けた入院症例

分子：分母のうち、抗凝固薬を処方された症例

指標の定義算出方法：

分母の定義：

1：

解析期間に退院した症例を対象とする

2：

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3：

このうち、在院日数が120日以下の症例

4：

このうち、脳梗塞かTIAの診断で入院した症例

入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ4

ICD-10コード	病名
I63\$	脳梗塞
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群

5：

このうち、心房細動の診断を受けた症例。

いずれかの病名のICD-10コードとして以下が含まれる症例

分母のデータ5

ICD-10コード	病名
I48\$	心房細動及び粗動

6：

このうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。

7：

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義：

1：

抗凝固薬を処方された症例（持参薬登録を含む）。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

退院時処方の判定：

2010年度～2015年度：FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」

2016年度～：EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード	薬剤名	2010	2012	2014	2016	2018	2020
3332001	ワルファリンカリウム	○	○	○	○	○	○
3339001	ダビガトランエテキシラート	○	○	○	○	○	○
3339003	リバーロキサバン		○	○	○	○	○
3339004	アピキサバン		○	○	○	○	○
3339002	エドキサバントシル酸塩水和物	○	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

抗凝固薬を投与しない医学的理由の情報が得られる場合は、その症例を分母から除外する。
本指標には、ICD-10コードI48\$による心房粗動が含まれる(約4%)が、心房粗動に対する抗凝固薬は心房細動と同じ適応のため除外していない。
2015年版ガイドラインより、抗凝固薬としての推奨にワーファリン以外が追加された。

参考値:

参考資料:

1:

Albers GW, Amarenco P, Easton JD, Sacco RL, Teal P. Antithrombotic and thrombolytic therapy for ischemic stroke. Chest 2001 Jan;119(1 Suppl):300S-20S.
American Academy of Neurology, American College of Radiology, Physician Consortium for Performance Improvement®, National Committee for Quality Assurance. Stroke and stroke rehabilitation physician performance measurement set. Chicago (IL): American Medical Association (AMA); 2010 Sep. 26 p.
American College of Cardiology, American Heart Association, European Society of of Cardiology. ACC/AHA/ESC guidelines for the management of patients with atrial fibrillation. J Am Coll Cardiol 2001 Oct;38:1266i-lxx.
Sacco RL, Adams R, Albers G, Alberts MJ, Benavente O, Furie K, Goldstein LB, Gorelick P, Halperin J, Harbaugh R, Johnston SC, Katzan I, Kelly-Hayes M, Kenton EJ, Marks M, Schwamm LH, Tomsick T. Guidelines for prevention of stroke in patients with ischemic stroke or transient ischemic attack: a statement for healthcare professionals from the American Heart Association/American Stroke Association Council on Stroke [trunc]. Stroke 2006 Feb;37(2):577-617.

2:

脳卒中治療ガイドライン(2009年版4-1(6)および2015年版3-1(6) 脳梗塞慢性期 心房細動)

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2021-04-27